

2 現代社会と人間の生き方

(1) 人間生活における文化

小項目 「世界の諸地域の文化と文化交流」

・ 小項目の目標

世界の諸地域の文化に目を向けさせて、文化の多様性、異質性に気付かせ、それぞれの文化が多様で異質でありながらも、共通したものを、普遍的なものをも内包していることに気付かせ、人類文化としての共通の基盤となるものは何かを考えさせる。

・ 指導計画

中学校の主な学習語句

文化 古代文明 文明開化 かな文字 採集と狩りの時代 焼畑
遊牧 農耕と牧畜 人種 民族 エスキモー人 オアシス ステツ
プ イスラム教 湿潤アジア 乾燥アジア モンスーン 米作
華僑 仏教 儒教 ヒンズー教 西岸海洋性気候 地中海性気候
偏西風 黒土地帯 混合農業 酪農 移牧 キリスト教 プレヘリ
ー パンパ 人種のもつば 開拓者精神 シルクロード ユネスコ
オリンピック東京大会

観点	ねらい	内容	資料	指導上の留意点	中学校との関連	選択科目との関連
人間と文化 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 文化を有するところが人間の特性であり、それによって人間らしい生活が営まれることを理解させる。 	<p>1 人間形成と文化</p> <p>(1) 人間と道具</p> <p>(2) 人間と言語</p> <p>(3) 文化と文明の概念</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「行動する人間」(祖父江孝男著『文化人類学のすすめ』講談社学術文庫 P17～60) 	<ul style="list-style-type: none"> この時間は「人間生活における文化」の導入として設定した。 文化と文明を対比させながら、生活文化について理解を深めさせる。 	<p>(歴史) 内容 (1) 文明のおこりと日本</p> <p>ア 人類の出現と世界の古代文明</p> <p>。 人類が地域ごとに異なる文字をつくり、情報伝達、記録を可能にしたことに着目させる。</p> <p>(地理) 内容 (1) 世界とその諸地域</p>	<p>(世界史) 内容 (1) 文明のおこり</p> <p>。 地球上に姿を現した人類が、長期にわたるいわゆる野蛮、未開な生活を体験した末、食料を生産する技術を体得し、各地の自然条件と対峙しながら、文明を築きあげていった過程を大局的に理</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 現代の文明社会からのもかけはなれた狩猟採集 	<p>1 狩猟・採集民の生活文化</p> <p>(1) おもな種族の分布</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「経済の技術・生活の技術」(祖父江孝男著『文化 	<ul style="list-style-type: none"> ピグミー、エスキモーなどの具体例を取り上げる。 		